

バスケットボールの練習ができる広い庭で、元気な子供の声が聞こえる家

インタビュー
2013.3.2



庭にはバスケットコートがあり、いつでも練習できます



2階にある二人の娘さんの部屋



1階の畳コーナー。普段はコタツをおかれています



H様邸の外観。屋根に段差をつけたのは、ご主人のこだわり



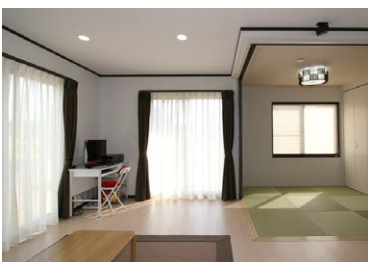
大画面のテレビ、サラウンドシステムの音響機器のついたリビング



バスケットボールのチームに入っているそうです



昼間は照明をつけなくても過ごせるほど明るい



部屋のすみにあるのはパソコンコーナー

土地探しもしてくれる住宅会社

「大坪さんで建てることは前から決めていたのですが、土地探しに時間がかかりました」とH様。借家にお住まいでしたが、土地の出にくい地域で、なかなか適当な土地が見つかりません。「そんな時担当のTさんがここを見つけてくれたのです」。

大坪建設は住宅会社ですが、土地探しのお手伝いもいたします。敷地の広さは約100坪。広い方がいいとおっしゃるHさんたちもその場所が気に入り、ようやく建築工事がスタート。

外観はご主人が担当し、内装や設備は奥様が

建築プランについては、H様が簡単な間取図を描いて渡されたそうです。奥様のこだわりは、子供さんの動きがわかりやすいリビング階段にすること。そして収納スペースを多く、というもの。

一方、ご主人は、外壁は塗り壁にして、屋根には段差をつけて、ガルバリウム鋼板で葺くことです。建築関係の仕事をしている方だけに、こだわりもかなり専門的。そして、好きな映画鑑賞のため、リビングには大型テレビとサラウンドシステムを設置されました。外観デザインはおもにご主人が担当され、内装や設備については

奥様が考えられたそうですが、壁紙や照明器具の選び方を拝見すると随所に趣味の良さとさりげないこだわりが感じられます。

奥様がとくに慎重に考えられたのが対面式キッチンです。「フルフラットのオープンタイプにするか、前を少し高めた目隠しタイプにするか」迷われたそうですが、結局オープンタイプのものに。「そのほうが、キッチンが広く見えるので正解でした。でも、もう少し後ろを広くしておけば、よかったです」とおっしゃいます。今は小さな二人の娘さんが成長して、キッチンに立つ将来を考えてのことです。

窓には、ひさしを付けたほうが良いですよ

この家に引越されてすでに1年。住み心地については、「断熱性が全然違います。暖房の効きが良くなりました」と。子供たちも自分の部屋が出来て自立心が芽生えてきたのか、部屋で過ごす時間が長くなったとおっしゃいます。

家を建てた先輩として、これから家を建てる方へのアドバイスは、「アドスペースをなくして収納は出来る限り増やしましょう。それと採光を考えた窓の配置をして、窓には、ひさしは付けたほうが良いですよ」とのこと。お話を聞きしている間も、広い庭でバスケットボールの練習をしている娘さんたちの元気な姿が印象的でした。